

松本空港ターミナルビル「中期経営改革プラン」

平成24年3月  
松本空港ターミナルビル(株)

◎ 中期経営プランの位置付け

平成22年5月、信州まつもと空港から日本航空が撤退し、同年6月からフジドリームエアラインズ(FDA)が就航した。これに伴い、ターミナルビルの事業環境が大きく変化し、現状のままでは継続的な経営が困難な状況に至った。そこで、平成23年度を初年度とする「中期経営改革プラン」を策定し、安定的な経営基盤の確立を目指す。

◎ 中期経営改革プランの期間

平成23年度～平成27年度の5か年計画

◎ 中期経営改革プランによる経営の安定化

当社が行っている事業内容・組織構成等から、早急な増収を図る事業展開は極めて困難であり、現状のままでは営業利益は大幅な損失が続くことになる。したがって、平成23年度において減損会計を適用し、単年度損益を改善したうえで「中期経営改革プラン」に沿って経営の立て直しに取り組む。

また、国が民間の能力を活用した空港経営改革を行うこととしていることから、今後、国及び県の動向に対応したプランの見直し等を適時行うこととする。

◎ 中期経営改革プランにおける施策

信州まつもと空港への就航便の増加や、より多くの航空機が利用可能となるような空港施設の充実について、関係機関等と連携して働きかけを行っていくとともに、当面の具体的施策として、以下の事項に積極的に取り組むこととする。

① 賃料収入の確保

空室となっている多目的ホール、貨物ビルなどの入居者を確保

② 付帯事業の充実

広告看板の掲出、物産展の実施、広告媒体の提供など

③ 営業支出の削減

人件費、清掃費、保守点検料、事務費など諸経費の縮減

④ 賑わいの創出

施設の環境整備、情報発信の充実

資料2

◎ 中期経営改革プランの目標  
平成27年度を目標とする。

【単位:千円】

|                   | H22      | H23       | H24     | H25    | H26    | H27    |
|-------------------|----------|-----------|---------|--------|--------|--------|
| 営業収入              | 77,632   | 63,739    | 62,861  | 66,122 | 66,717 | 69,415 |
| 賃料収入<br>(管理費含む)   | 68,767   | 56,662    | 55,489  | 58,005 | 58,005 | 59,958 |
| 設備使用料収入           | 1,125    | 883       | 882     | 1,032  | 1,032  | 1,182  |
| 付帯事業収入<br>(広告収入等) | 7,740    | 6,194     | 6,490   | 7,085  | 7,680  | 8,275  |
| 営業支出              | 104,491  | 90,129    | 65,318  | 65,770 | 66,606 | 64,946 |
| 営業収支              | △ 26,859 | △ 26,390  | △ 2,457 | 352    | 111    | 4,469  |
| 経常利益              | △ 25,875 | △ 26,232  | △ 2,456 | 364    | 135    | 4,494  |
| 特別損失              | 0        | △ 447,203 | 0       | 0      | 0      | 0      |
| 当期純利益             | △ 30,839 | △ 475,041 | △ 2,785 | 35     | △ 194  | 4,165  |

